



ながよしろうくたんちゅうがっこう ほごしゃ みなさま 長吉六反中学校の保護者の皆様

今回、コロナウィルス(Covit19)蔓延の影響で、普段よりも自由のない生活を送られていることとお思います。こどもたちに対しても、こどもを保護する責任と、こどもの権利を守る義務とのほざまで、何を許して何を制限するのか、難しい選択を迫られることもあるかとお思います。そこで、こういった状況下でこどもたちはどんなことを考えているのか。Save the Children が行ったこどもたちへのアンケートが、こども

たちの生の声を拾ってくれていますので、ご紹介しします。

全文読んでみようと思われる方はコチラ↓

<https://www.savechildren.or.jp/scjcms/dat/img/blog/3215/1585730904941.pdf>

{一人で過ごす時間があるこどもたち} は約14%。その中には、「一人でお留守番をしているときにゲームをしても楽しくない」と言ったこどもがいました。先が見通せない今、いつもと違って、何となく誰かと居たい感じがするのかもしれません。

{家に子どもだけで過ごす時間があるこどもたち} の中には、「お兄ちゃんと一緒でもお留守番が怖い」と答えた小学生がいました。こどもたちも普段と違う空気に、不安を感じているのかもしれません。

{人に会えない・会いたい} と感じているこどもたちは多く(20%)、しかも突然学期の終わりを告げられたショックは大きいようです。

{日常生活が送れていない・外出できない} と感じているこどもたちはさらに多く、30%に上ります。「一緒に遊んだらダメはづらい」「テレビやゲーム以外にやることがない」といった声が聞かれました。また、「外で遊んでいるとお年寄りに怒られる」や「学校にクレームが入る」といった声があり、大人の非寛容さを恥ずかしくお思います。中学生では、(自分の家は外出を許して貰えないので)「学校が始まったら、遊べた子たちだけ仲良くなっていて、自分が孤独になるのじゃないか」と心配する声も聞かれました。

{非日常の特別な体験(つまり卒業式等)が失われた} と感じているこどもたちには、特別な配慮が必要です。いつも通り登校すると突然終わりを告げられ、十分なお別れができないままバラバラになってしまったこどもたちの喪失感を埋める責任は大人にあると感じています。

{生活習慣のみだれ}を心配しているこどもたちの中には、「よくねむれない」ということ
もも居て、心配です。コロナ関連のニュースを繰り返し見ることは避けて下さい。「そんな
ことしたらコロナになるで」といった“おどし”はやめましょう。「ああ、しんどい。お母さん
コロナかも」といった“悪い冗談”はやめましょう。また、マスクや日用品を手に入れる
ためにこどもを薬局の前に並ばせたりしないでください。できるだけ普段通りの日常をこ
ころがけてください。その上で、毎日決まった時間に筋トレチャレンジをするなど、生活
リズム作りを工夫してください。

{運動不足・体力の低下}は深刻な課題です。スポーツ選手など、家でできる楽しいトレ
ーニングをインターネットにアップしてくれています。毎日違う動画をこどもに選んでも
らって、毎日決まった時間に一緒にチャレンジしてみてもいいでしょうか？

{勉強ができない、学力の低下}が気になっているこどもはたくさんいます。習っていな
い部分が宿題に出ている場合もあり、「わからないとき、どうしたらいいのかわからない」
といった切実な声や、コロナ状況下でのストレスから、「イライラする」「勉強がはかどら
ない」といった声も聞かれます。集中力が続かない時に自分で学習するのは難しいもの
です。学習塾が無料で提供している動画授業等を活用されても良いかと思います。

{保護者の生活状況に対するもの}では、主に小学生で、「親が職場で新型コロナウィル
スをもらわないか心配」する声や、「パパのお仕事が少なくなったこと」を心配する声があ
りました。こどもは言葉には出しませんが、いろいろ考えていますよね。健気です。

{体調（り患）や感染拡大への心配・懸念}の項では、小学生では「コロナになったら死ぬ
のが怖い」や、中学生では主に「会えない友達がコロナウィルスにかからないか心配」と
大切な誰かを心配する声が聞かれました。そこでお願いですが、こどもたちにはできる限り
“正確な情報”できれば“一次情報”だけを伝えてください。“一次情報”というのは、
「実際に取材を行った記者が書いた文章」や「クラスター対策班の中にいる人の記者会見」
が含まれます。まとめサイトに一次情報はありません。ママ友メールは三次四次五次情報
がほとんどです。二次以下の情報には発信する人の意見・感想・誤解が含まれ、まるで伝言
ゲームのように偽情報に変化してしまっている可能性もあります。また、たとえ確かな
情報でも、拡散することは慎んでください。こどもは、お父さん、お母さんの姿を見て
育ちます。

{その他困りごと・心配なこと}では、「悪夢を見るようになった」「不登校になったらどう
しよう」「どうやって学校モードに戻すかわからない」といった深刻な声や、「ギガがなく

なりそう」といったさらに深刻（笑）な声も聞かれました。

というわけで、こどもたちは（特に身近な人に対しては）言葉に出ませんが、私たち大人が思うよりもいろいろ考えています。自分勝手なように見えて実は誰かのことを心配していたり、今の状況を（無意識ですが）不安に感じていたりします。そのせいで、いつもよりイライラしたり、場合によっては暴言を吐いたりすることもあります。彼らに必要なものは安心感です。彼らが不自由な生活の中でも安心感を持って生活できるように、「今だからこそできること」を見つけて、創意工夫してみてください。

ながよしろう たちゅうがっこう
長吉六反中学校 スクールカウンセラー
藤 原 佳 世

そうだんしつ かいしつよてい がっき
相談室の開室予定（1学期）

4月（10日・17日・24日）

5月（15日・22日・29日）

6月（5日・12日・19日・26日）

7月（3日・10日）

きんようび じ ぶん
金曜日の10時50分から16時25分まで

きぼう にちじ たんにん せんせい がくねん せんせい きょうとうせんせい つた
ご希望の日時を担当の先生が学年の先生、もしくは教頭先生にお伝えください。